



# みかわ牛PRに向けた取り組み ～私たちに今できることを考える～

## みかわ牛の定義 みかわ牛HPより

- ・認定農場で1年以上肥育
- ・肉質等級4等級以上
- ・県内3食肉市場より出荷

マスコットキャラクター決定!!!

『ふぁにー』



こういう  
可愛いので  
作りたい

今年度、牛チームの活動の大テーマになるであろうみかわ牛のPR活動。みかわ牛の知名度向上に向けて、農業高校生ができる活動は何かを考えました。昨年度、本校の公式マスコットキャラクターとして「ふぁにーちゃん」が誕生したことから、みかわ牛を多くの人に身近に感じてもらうようなマスコットキャラクターの発案や、「知ってもらおう」きっかけ作りのためのポスターやチラシ、動画作りを考えています。

このコロナ禍はまだまだ続き、イベントの開催や多くの人と関わる機会を作ることはまだ難しく思うです。しかし、和牛甲子園を通じて多くの人に私たちの活動を知っていただいている今、「コロナだから」を理由に何もしないままではもったいないと考えました。まだまだ発案段階で、今後どう動くことができるかわからない状況ですが、高校生だからできる活動に積極的に挑戦していくことで、愛知県が誇る和牛ブランド「みかわ牛」をもっと広く知っていただきたいです。

## 令和4年度GAP勉強会が始まりました

新年度に入り、いよいよ今年度の審査に向けたGAP勉強会が始まりました。JGAPとは、食品安全や労働安全、家畜衛生やアニマルウェルフェアなど、よりよい農業の実現を目指して取り組む認証制度です。JGAPに取り組むことで、SDGsの多くの目標の達成に繋がります。JGAP認証を受けているということは、安心安全で持続可能な農業を実践できているということになります。今年から、JGAPに取り組む上での説明書ともいえる「管理点と適応基準」が改訂されたことから、書類や中身を新しくする必要があります。昨年度の審査を経験した2、3年生ですが、また書類や仕組みを作り直すとなると、なかなか難しく、毎日遅くまで居残りして頑張ってくれています。GAPの有効期限は2年間であり、今年度、期限を迎えます。継続審査は11月以降に実施する予定です。この活動に取り組むことで、書類作成などによるパソコンスキルの向上だけでなく、話す力、考える力を身につけることができます。SDGsを含め、社会の課題に気付き、解決しようとする姿勢もできるようになります。現在、豚チーム3人、牛チーム4人で取り組んでいるため、興味がある人はどんどんチームに加わって挑戦してみてください。



## 豚のトマト給与、2度目の実験を開始しました

昨年度に引き続き、黒豚に規格外トマトを給与する実験を開始しました。実験①となる昨年度の実験では、給与による発育への影響を調査しました。実験①からさらに発展した研究として、今年度開始した実験②では、規格外トマトの給与が豚肉に及ぼす影響を調査していきます。トマト給与から1か月で血液検査を実施し、血液中のリコピン含量を調べます。その後、出荷後には肉の分析を行い、豚肉中のリコピン含量を調査していきます。トマトに豊富に含まれる栄養素として有名なリコピンは、発がん防止や老化防止、体内の血流改善など、多くの健康のための効果を持つと言われています。規格外トマトを食べた豚の肉に、通常より多くのリコピンが含まれることになれば、その豚肉に価値が加わることとなります。そう考えると、本来廃棄されてしまうはずの規格外トマトには、まだまだ多くの可能性が秘められていることが分かります。現在、生徒が平日は毎日豚舎に訪れ、実験区の豚にトマトを給与しています。食いつきは良好で、どの豚も喜んでトマトを食べています。今後の調査結果が楽しみです。

